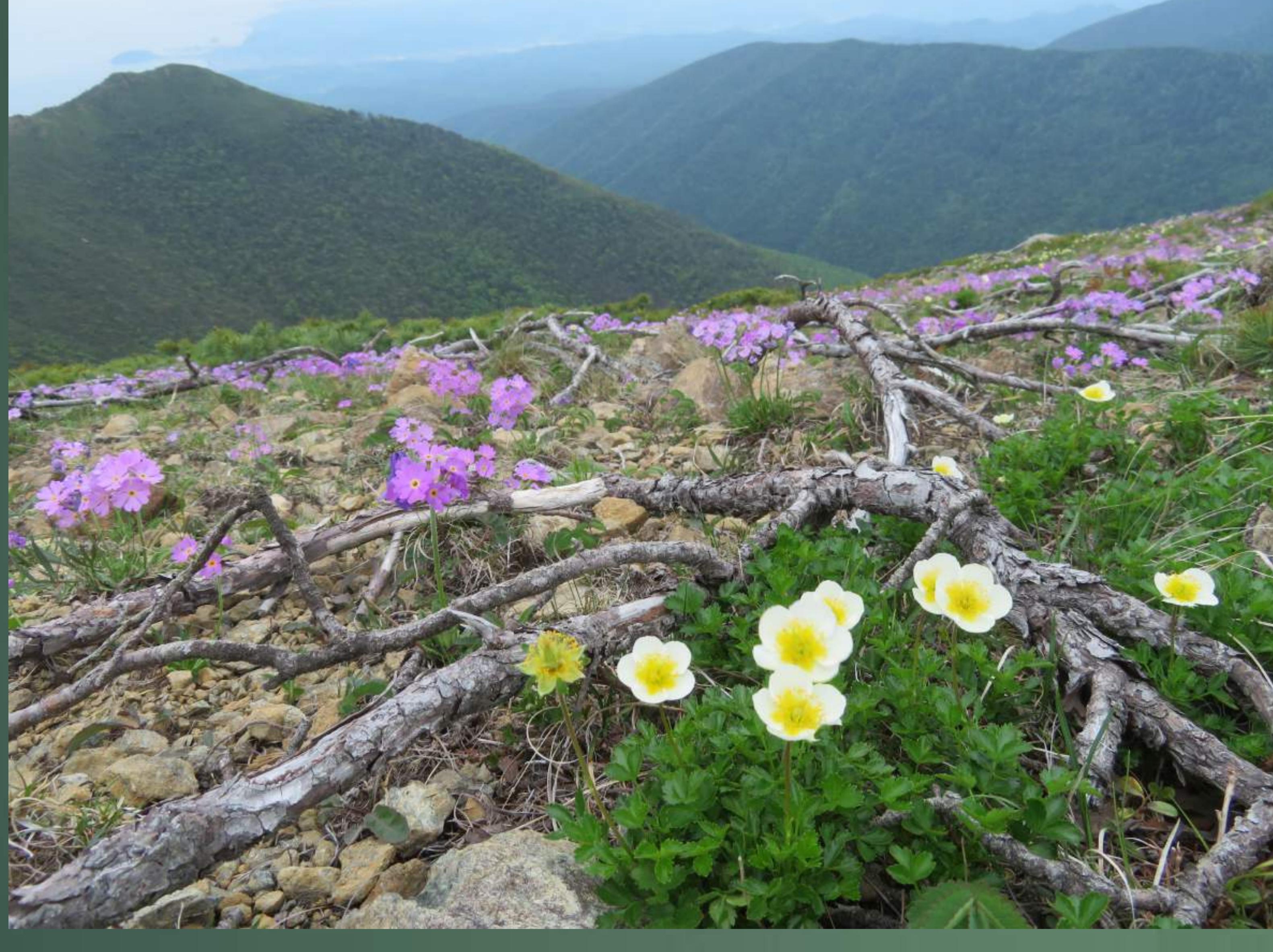


アポイ岳ジオパーク



アイヌ語『アペ（火）・オイ（ある）・ヌプリ（山）』が語源といわれるアポイ岳は、北海道の背骨といわれる日高山脈ができるときに、地下数十キロにある上部マントル「かんらん岩」が大きな変質を受けずに地表に出てきた世界でも珍しい山です。アポイ岳ジオパークには、日高山脈形成に伴う地殻変動などによって形成された断崖や岩礁などが多く、美しい景観を作り出しています。また、海洋性気候の影響を受ける地域のため、冬でも北海道にしては雪が少なく、アポイ岳は天候や気温などの条件が良い日には、冬山登山も可能です。

「アポイ岳ジオパークPRムービー」
動画は[こちら](#)



かんらん岩は「超塩基性」であるため、植物にとっては本来厳しい土壌です。氷河期前後でアポイ岳に避難した高山植物たちは、アポイ岳のかんらん岩でも生きられるよう独自の進化をしたことにより、アポイ岳にしかない高山植物群落が形成されました

「北大生と行くアポイ岳」
動画は[こちら](#)



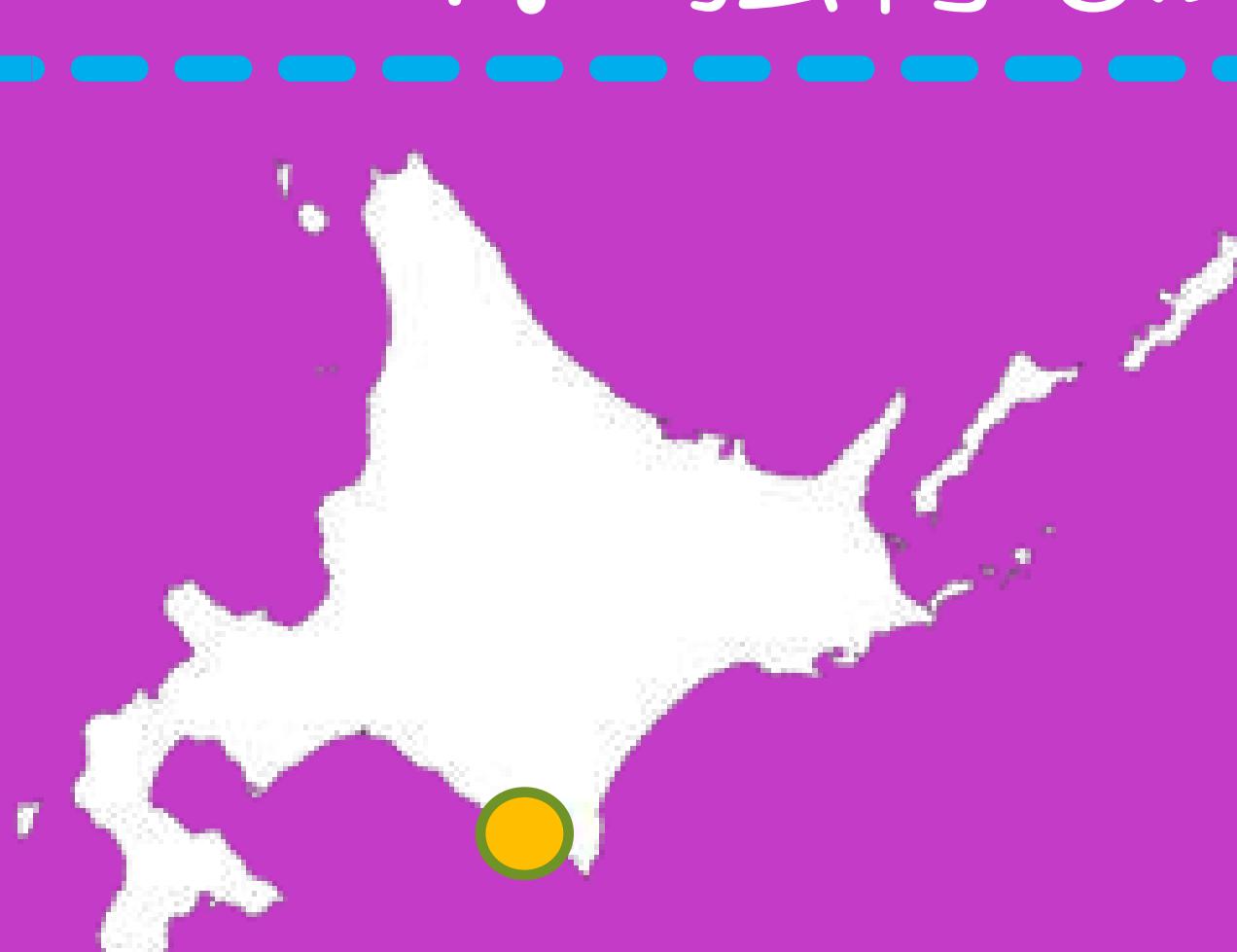
「様似町のコンブと生きもの」
動画は[こちら](#)

日高山脈形成時に生まれた岩礁により、日高昆布やウニ、マツブなど“ジオの恵み”が育まれています。特に日高昆布は、海岸段丘上やかんらん岩の上に干されたうえで商品化されるので、まさにジオの恵みといえます。

地球深部からの贈り物がつなぐ大地と人と自然の物語

アポイ岳ジオパークで楽しめる4つの物語

1. 日高山脈・アポイ岳が形成されるダイナミックな地球の物語
2. アポイ岳周辺で生きていくために対応する動植物たちの物語
3. 豊かな中にも厳しい自然とともに生きてきたアイヌの物語
4. 独特な地形を時には活かし、時には闘い生きてきた歴史物語



アポイ岳ジオパークへの行き方

○レンタカーの場合

新千歳空港から約3時間

帯広空港から約2時間

詳しいアクセスは
[こちら](#) ⇒

